

http://www

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan)

ニュースレター

2021年3月発行
第4号

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan) <http://vbtj.org/> toyoshi@io.ocn.ne.jp (長谷川)
<事務局> 〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台 1337-1-508 長谷川方 04-2939-8470 (TEL&FAX、長谷川)

巻頭言

「窓から外を見てみる」

J.Clay Mission Network 永井敏夫



この号の内容

- 1 巻頭言「窓から外を見てみる」(永井敏夫)
- 2 「漫画メサイヤ」ベトナム語版特集(大塩英人)
- 3 同上
- 4 同上
お祈りと支援献金のお願い
会計報告
編集後記

私は家の窓越しに外の様子を見るのが好きだ。隣りの緑地の樹々に目をやり、また鶯がデビューした時より格段と上手になっている音色に耳を傾ける。外の世界(この場合は自然)の様々な変化に目を留めながら、時々自分のことを顧みている。

ところで私は「信濃の国」で知られる長野県の出身だ。私が育った頃は市内で外国からの人々を目にした記憶はない。(アメリカ人宣教師方はおられたが)先日帰省した折りに地元紙の信濃毎日新聞を見たら、とても興味深いデータが掲載されていた。2019年末の統計によると長野県に何と124カ国から約38000人の人々が来て住んでいるという。(県の人口は205万人。外国人の占める割合は1.8%)この数字は正直驚きであった。内訳は多い順にまず中国が6000人を越え、続いてブラジル、ベトナム、フィリピンが4000人以上と記してあった。私は地元の変化に気が付いていなかった、いや窓から地域を見ていなかったことを改めて知らされた。果たして読者のみなさんの地域ではどうだろうか？

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan) はユニークなネットワークで自由さがある。Bは聖書を意味するから、もし初めのVに言語名を入れ、最後のJに地域名を入れるなら、VBTJの活動はまさに世界宣教の一つの方策と言える。確かに聖書を届けることを大切にしているが、そうしようとする動機は主ご自身の隣人愛そのものだ。ベトナムから来ている人々に限らないが、日本語の習得の機会を求めている人たちは少なくないと言う。日本の地方にある教会が、地域にいるベトナム人の若者と交わる機会を提供できたら素晴らしいだろう。何も日本語検定試験の上級に合格するレベルでなくても、間違いながら、笑いながら共に過ごすひと時に意味がある。地域によっては、地元のグループがイベントなどに外国人を歓迎しているニュースが紹介されることがある。これに促されて地域の教会が、地域の人々と外国人たちたちに呼び掛け、教会のスペースで交わってみる機会を提供してみるのも良いかもしれない。「私の行っている教会ではこのようなことをしてみました。そうしたらこうでした。」などの例を編集部にお知らせ頂ければうれしい。

更には、華人クリスチャンの方々がアジアの他の地域から来ている方々に関わっているというニュースも聞く。これは、海外の例えば韓国教会が日本人にも重荷を持ち、会堂のスペースを礼拝に提供しているという事例にも通じている点があるように思う。これも隣人愛の可視化の一つだと思う。

これからもVBTJの動きを応援しながら、この動きが世界のどの国から来ている人々にもなされていくことを私は願い、祈っている。

私は地元の変化に気が付いていなかった、いや窓から地域を見ていなかったことを改めて知らされた。

「漫画メサイヤ」ベトナム語版特集

「この子たちは全員私の子」

VBTJ 代表 大塩英人



ホーチミン市に

私は 2003 年に信仰を持ち、シンガポールで妻(ベトナム人)と出会い結婚し 2005 年に妻の故郷のホーチミン市にきました。当時、当地には日本人の宣教師ご夫妻がリーダーでおられ本当に幸せでした。しかしその幸せな日々は長く続かず、10 年間苦闘した宣教師ご夫妻が 2010 年にベトナムを離れる事になりました。

ベトナム語訳の書籍

彼らがいなくなった後、信徒 3 名による毎週の喫茶店の祈りが 3 年あり日本人教会は再生し、また幸せな日々が始まりました。その時には私の本棚には、宣教師ご夫妻から渡されたベトナム語訳の三浦綾子さんの“光あるうちに”と“旧約聖書入門”が並んでいました。本棚にあると、嫌でも目につくものです。皆様もそのような経験はありませんか? 「この本、何とかならんのかなあ、もっとベトナム人に読まれると良いんだけどなあ、でもいいや、自分はホーチミン日本語教会で幸せなんだから、外国人が伝道すると捕まるかもしれないし」と、心の中でつぶやいていました。

見ないふりはできず

時が過ぎて 2018 年 2 月。借金を背負って日本に仕事で来るベトナム人と、日本人の不正義と、みことば(黙 3: 14 - 17)が、主から立て続けに示されました。その時にはもう私は無関心でいられなくなっていました。彼らは私の隣人であり、家族であり、もはや見ないふりはできなくなっていたのです。私は本棚で眠っていた三浦綾子さんの本を復刻し、“日本にベトナム語聖書と一緒に送りたい”とベトナムの諸教会に言って歩きました。聖書の無いところで魂の救いはないからです。歩き出して 2 か月経った頃、以前日本の牧師をお連れした事のあるベトナム教会でベトナム語聖書の必要を話したところ、彼らは 8000 冊を寄贈するというのです。聖書 8000 冊というと、650 万円分です。その地下教会は 30 年間も貧しい状況にあり、しかも何回かしか私と会っていないのです。1 教会で 1 冊なら日本の全プロテスタント教会に配らないとならない分量です。残念ながら私の信仰の小ささの故に丁重にお断りし、その 10 分の 1 だけを頂戴する事にしました。これが、VBTJ の源流です。

ベトナム語の本が語りだす時

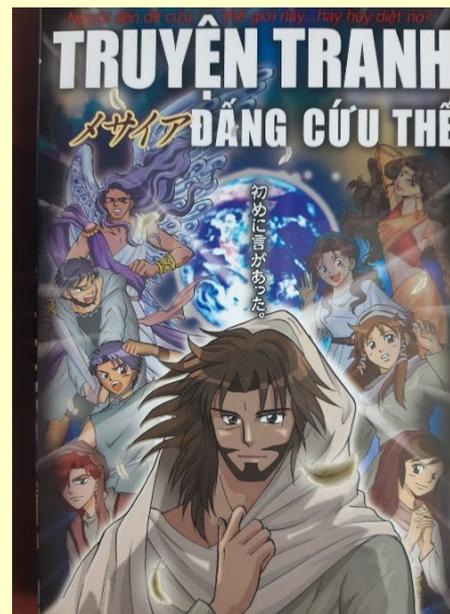
あれから 3 年経った今、日本国内に 126 の協力教会があります。大阪にしかなかったベトナム人教会も東京と名古屋にできました。協力教会の本棚にはベトナム語聖書と三浦綾子さんの本が並んでいます。私が受けた主からのチャレンジのように、またロバが話したように(民数記 22:28)いつかベトナム語の本が語りだすことを信じています。日本社会の矛盾の穴埋めのために来てくれた隣人との関係の見直しを牧師が、そして役員会が祈りだし、信徒の家の中でも祈られていく事を祈っています。隣人とは誰なのか、どうぞ目が開かれますように。

「漫画メサイヤ」ベトナム語版

私は、どうにかして“お返し”がしたいと、2018 年夏に 800 冊の聖書を受け取った後から祈りだしました。以前、ハノイの日本人信徒が見せてくれた漫画メサイヤベトナム語版が頭にありました。あれをベトナムに輸入して教会にお返しできないかと。

新生宣教団に聞きに行きましたが当然ながらお金の問題があり、また共産主義国家なのにどうやってベトナム国内に入れるのかというもつともな指摘がありました。しかし、祈り続けて1年以上過ぎた2019年秋、不思議な方法で、主は我が家に一時金をくださったのです。私は、次のプロセスの輸入に続けるために、合法的な通関にこだわっていました。税関で没収されたら主から与えられた資金が無駄になるというプレッシャーはあったのですが、2020年11月、大きなトラブルもなく正式に通関ができました。ベトナム語聖書を寄贈してくれたそのベトナム教会が、30年の苦しみの後に教会ライセンスが与えられていたことが大きかったのです。時間は掛かるし手間も掛かるけれども、ベトナムは正しい手順を踏みさえすればドアは開いています。こうして漫画メサイヤベトナム語版2000冊をクリスマスギフトとしてお返しする事ができました。

失望してはなりません(ルカ18:1)。主は、必ず私たちの祈りに応えてくださるのです。



☆正会員と協力教会、ボランティアを募集中

今、私たちはベトナム語文書の日本国内配布だけでなく活動の幅を広げていきたいと思っています。イエス様が巡り歩いてくださったように、私たちも待つばかりではなく動きたいのです。

具体的には;

- (A) 教会にベトナム人を呼んでくるために、教会の周縁の活動を支援したい;
(例: 教会内での無償日本語教室、料理教室、出前日本語教室など、啓蒙と実験)
- (B) 在日ベトナム人の教職者(説教者、長老)を育てたい。特にお世話役(牧会者)を。
- (C) ベトナム人宣教師をベトナムやアメリカからお呼びしたい。
- (D) 奨学金のような形で教会に属する在日ベトナム人の生活を支援をしたい。
- (E) 在日ベトナム人が行うイベントに協賛したい。

などを想定しています。

しかし、経済的な基盤がありません。それで、広く協力教会(無償サポーター)を募るばかりでなく、私たちVBTJは正式に規約を定めて活動をすることにしました。正会員(個人、教会、宣教団体など: 年会費一口5,000円)を募り、皆様と一緒に更なる主のみわざを見てみたいと思っています。牧師の方は役員会に、役員会は信徒の方に、また、信徒の方がこのニュースレターをご覧になられた場合は牧師にお話していただけないでしょうか? 勿論、信徒個人としてのご参加も大歓迎です。

* 総会開催のお知らせ

正会員になってくださった方とは6月12日(土)午前10時からZOOMで行われる第1回VBTJ総会でお目にかかる事を期待しています。

正会員へのお申し込み

- (1)VBTJホームページ画面右上の連絡欄からご連絡ください。
- (2)または最終ページの事務局(長谷川与志充牧師)の連絡先へ、お名前・ご住所・メールアドレス・(所属教会)をお知らせください。私共の方から折り返しメール等でご連絡させていただきます。

「この子たちは全員私の子ども」

前号のニュースレター第3号で書かせていただいた大阪の在日大韓基督教会平野教会にはおよそ20名のベトナム人が集まっています。牧師は在日20年の韓国出身の方で、信徒は日本人、韓国人、ベトナム人が3分の1ずつで、日本語を中心としたトリリンガル教会です。全ては5年前にやってきた1名のベトナム人信徒から始まったのです。私は2019年夏に平野教会を訪問したのですが、長老の奥様が、若いベトナム人と一緒にお昼ごはんを料理しながらこう言いました。「この子たちは全員私の子ども。毎日神様に感謝しています。」と。それを聞いて、私は心の中で号泣しました。ハレルヤ、主に感謝します。国境、言語、文化を越えた愛ある交わりに！

1つでも多くの日本の教会にこのような交わりが生まれるよう、最初の1人のベトナム人をどうやって教会に呼ぶのか、どうしたら教会に根付くのか、私たちVBTJは具体的な方法を模索し、実験し、広報し続けたいと思っています。その為に、正会員、協力教会そして多くの参加者を募集したいと思います。是非ご連絡ください。時間も手間も掛かるでしょうが、そういうことは経験済みです。これからも聖霊様が働かれますように、そして祝福して下さいますように、共に祈りください。

このニュースレターには皆様からの原稿を掲載できたらと願っています。①ベトナム語版三浦綾子書籍をベトナム人に配布した証し ②各教会におけるベトナム人との交流の証し ③個人的なベトナム人との交流の証し のような原稿をVBTJ事務局(長谷川)までメール等でお送り下さい。字数は800字以内でお願い致します。

お祈りと支援献金のお願い

全国諸教会へのベトナム語聖書とベトナム語版三浦綾子書籍の配布の他にも、VBTJでは今後以下のような働きを祈りつつ計画しております。

- 1)ベトナム語版トラクト作成&配布
- 2)ベトナム語版漫画メサイヤ作成&配布
- 3)ベトナム人宣教師の日本各地への派遣

これらの働きのためには多くの経済的必要があります。是非とも覚えてお祈り下さい。また、主に導かれた方は以下の口座まで支援献金をお振り込みいただけたら幸いです。

ゆうちょ銀行 記号 10300 番号 94675701
 他銀行からの場合 店名 ○三八(ゼロサンハチ)
 店番 038 普通 9467570

会計報告

2020年11月～2021年2月

(収入) 支援献金	221,000円
前回繰越金	187,273円
計	408,273円
(支出) 印刷代	8,250円
郵送代	15,851円
計	24,101円
(収入)－(支出)	384,172円

VBTJ(Vietnamese Bible To Japan)

事務局
 359-1105
 埼玉県所沢市青葉台1337-1-508長谷川方

電話番号&FAX番号
 04-2939-8470(長谷川)

電子メール
 toyoshi.ocn.ne.jp(長谷川)

ホームページ
<http://vbtj.org/>

編集後記

大塩代表の特集記事の中で正会員募集と第1回総会の案内がありました。VBTJはこれまで諸教会へのベトナム語版文書配布と国内ベトナム語礼拝支援の働きをして来ましたが、今後のさらに大きな働きに備えて本格的に組織化を図って行くことになりました。是非正会員となってVBTJをこれまで以上にご支援いただけたら幸いです。巻頭言にあるように、窓の外を見ればベトナムの若者たちが巷に溢れています。主が命じられたように、主が収穫のための働き手を送って下さるよう共に祈って行きましょう。(長谷川)